



行動経済学会ポスター報告奨励賞

(2020年12月12日・13日開催 第14回大会)

行動経済学会では2010年大会より、行動経済学研究の発展と若手研究者の育成・顕彰を目的として「行動経済学会奨励賞」を設け、さらに2017年大会より、ポスター報告も対象として「行動経済学会ポスター報告奨励賞(一般部門)」と「行動経済学会ポスター報告奨励賞(学部生部門)」を設けました。

一般部門7件と、学部生部門25件を厳正に審査した結果、今回は以下の通り、一般部門は、石田 森里(横浜市立大学大学院)、清水 裕士(関西学院大学社会学部)、学部生部門は丹後 健人(横浜市立大学)、川上 雄大(名古屋大学)、三木 綾太(武蔵大学)、根本 愛(明治大学)に決定しましたので、ご報告申し上げます。

学部生部門の授賞式は第14回大会で執り行われました。

なお、一般部門の授賞式は次期大会で執り行う予定です。



【行動経済学会ポスター報告奨励賞(一般部門)受賞者】


受賞者：石田 森里(横浜市立大学大学院)

報告論文：The Salient Effect: Evidence from the Consumption Tax Hike in Japan

共著者：中園 善行(横浜市立大学大学院)

受賞者：清水 裕士(関西学院大学)

報告論文：分配の正義への社会的価値関数アプローチ



【行動経済学会ポスター報告奨励賞(学部生部門)受賞者】

受賞者：丹後 健人（横浜市立大学）

報告論文：Time to See a Doctor: Expenditure at Retirement in Japan

共著者：中園 善行（横浜市立大学大学院）

受賞者：川上 雄大（名古屋大学）

報告論文：企業は何に備えて現金を増やしているのか？

受賞者：三木 綾太（武蔵大学）

報告論文：マークトウェインの呪いは解けるか？

～まぬけのウィルソンのカレンダー1894年版の検証～

共著者：紅 奈美（武蔵大学），

榎本 祐歌（武蔵大学），

橋本 明香里（武蔵大学），

松岡 紘（武蔵大学），

下田 記歌（武蔵大学）

受賞者：根本 愛（明治大学）

報告論文：行政の支持度と新型コロナウイルス感染症に対する行動変容の
決定要因

共著者：斉藤 美緒（明治大学），

浅見 裕人（明治大学），

金澤 威朋（大阪市立大学），

城崎 涉吾（大阪市立大学），

稲坂 祥子（大阪市立大学）

